

市民の声届け 日本共産党の 実現迫る4議席



小田 桐たかし



植田 和子



高橋あきら



いぬい えり

電子投票

4千万円超の 支出増

来春の市長・市議選挙はタブレットによる電子投票に。利点もあるいっぽう、投票する市民への理解・周知は不十分で、4300万円もの経費増です。既に電子投票を導入した自治体でも「費用面や開票作業など課題を解消することが先決」とのことです。期日前投票所の増設やバリアフリー化など、市民要望は残されたままに…。

誰のための「選挙」なのでしょう
うか？

水道料金

負担軽減 期間拡大へ

物価高騰対策として、繰り返し日本共産党が求めてきた水道基本料金の減免（今年6～9月）が実現。6月議会では国からの交付金を活用し、11月まで、さらに2か月延長となりました。

上水道も値上げ!?



北千葉水道企業団は2028年度から値上げ計画を発表しています。その計画に伴い、市も値上げ方針を表明しました。市民負担増が懸念されています。

熱中症

「命」を守る対策強化を

熱中症特別警戒アラート発令時に一般開放されるクーリングシエルトは35力所、涼み処は25力所まで拡大に…さらなる拡大と内容の充実を求めました。

いっぽう中学校の部活動では心配する声も。体育館では暑いと感じればエアコンをつけることなど、子どもに命最優先で部活動の中止を含め判断するよう求めました。

火災後の対応

3日間から 1週間へ拡大

緊急避難



今年1月、市営住宅で火災が発生。日本共産党は火災後の緊急避難対応の充実を提案してきました。今議会、被災者に対する市営住宅の緊急貸与（無料）は「3日間のみ」から1週間に拡大され、生活用品の支援も改善されました。空室がある場合には最大6か月（有料）まで延長できます。

介護福祉

人材確保へ 支援拡充を



市民とともに実現してきた介護福祉士等への処遇改善。今議会では、対象を訪問看護師にも拡大（夜間の宿直に対する処遇改善として月9千円支給）。現場からの願いに応える画期的な取り組みです。

日本共産党は、さらに障害児者の福祉現場職員にも処遇改善を提案。福祉の維持・向上に「人」は不可欠です。ご一緒に実現させましょう。



ねほり
はほり

許せません

市長サイドからの圧力※

附属幼稚園の廃止条例に対する態度をめぐり、教育長から「反対したら、教育に関する質問をしても予算はつけない」と脅迫まがいの圧力をかけられた…との話が聞かれています。本当なら、職権乱用にとどまらず、地方自治の根幹を揺るがし、本市の「教育」の歴史を壊しかねません。

2026年第2回定例会 星取表

会派		日本共産党				流政会						自民党		公明党		流山みらい															
議員名 ○賛成 ×反対 -棄権 ※議長は表決に参加しない。		乾 えり	高橋 あきら	植田 和子	小田 桐仙	小沢 えみり	川本 大岳	渡辺 仁二	近藤 みほ	石原 修治	坂巻 儀一	笠原 久恵	青野 直	中川 弘	海老原 功一	桑畑 伴子	岡 明彦	戸辺 滋	野村 誠	うた 桜子	西尾 段	中村 彰男	藤井 俊行	楠山 栄子	清水 大	鈴木 ゆうすけ	矢口 輝美	森田 洋一	阿部 治正		
附属幼稚園廃止条例を	撤回する動議（可決）	○	○	○	○	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	
	継続審査とする動議（可決）	○	○	○	○	×	×	×	×		×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○
電子投票に関する条例（可決）		×	×	×	×	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	一	○
イランへの軍事攻撃の中止と国連憲章の遵守を求める決議（可決）		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
有料職業紹介事業（医療・福祉等職員）の手数料適正化への意見書（可決）		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○